

定期報告(ウルグアイ内政・外交:2014年7月)

1. 内政

(1) 政府, 議会の動向

- ア 8日, 上院は国会審議中の「オーディオビジュアル通信サービス法」(通称メディア法)につき, フランク・ラ・リュウ国際連合特別報告者(表現の自由担当)と会談した。
- イ 16日, 組織犯罪法廷は, 公共保健サービス公社(ASSE)における汚職の疑いで, アルフレド・シルバ・ASSE 従業員労働組合委員長ほかの逮捕・起訴を命じた。今次の逮捕・起訴は, ASSE 所管の病院において, 院内の清掃を請け負っている業者が就業時間を実際よりも長く申告し, 清掃経費を水増し請求していた疑いに係るもの。
- ウ 22日, ムヒカ大統領及びベルガラ経済財務相は, 財政包括法第19210号及び19228号にもとづき, 8月1日より付加価値税の引き下げを実施する政令に署名した。
- エ 31日, リリアム・ケチチアン観光スポーツ相, ベルティル・ベントス・パイサンドウ県知事及びアルバロ・カンパ・サルト県知事は, 観光分野でのヴァリユール・チェーン強化に係る行政組織間協定に署名した。
- オ 10月の総選挙で下院議員に立候補するため, 任期満了前に辞任した県知事は次の通り。ベンハミン・イラサバル(ドウラスノ), アルマンド・カスティンデバ(フロレス), オスカル・デ・ロス・サントス(マルドナド), オマル・ラフルフ(リオ・ネグロ), ギジェルモ・ベソッシ(ソリアノ)。憲法の規定により, 現職の県知事が下院議員候補になるためには, 総選挙実施の3ヶ月前(今次の場合は7月26日)までに辞任しなければならない。

(2) 与党 FA の動向

26日, FA 全国審議会は, タバレ・バスケス前大統領, ラウル・センディック前 ANCAP 総裁の両者をそれぞれ大統領候補, 副大統領候補として公式に承認した。また, 前年より党内で議論, 準備されてきた基本政策綱領が公式に承認された。

(3) 野党の動向

- ア 14日, コロラド党は記者会見でヘルマン・コウティニョ・サルト県知事を副大統領候補に選出した旨正式に発表した。
- イ 26日, 国民党全国審議会は, ルイス・ラカジェ・ポウ下院議員, ホルヘ・ララニャガ上院議員をそれぞれ大統領候補, 副大統領候補として公式に承認した。また, 10項目からなる政権綱領が公式に承認された。

(4) 世論調査

7月に当地主要世論調査会社を実施した政党支持に関する調査結果は次の通り。

ア 質問項目:「次の大統領選挙であなたはどの政党に投票しますか」

イ 回答集計結果

	FACTUM 社	INTERCONSULT 社	EQUIPOS 社
FA	42.0%	39.0%	42.0%
国民党	30.0%	29.0%	27.0%
コロラド党	14.0%	15.0%	13.0%
独立党	3.0%	2.0%	1.0%
その他	2.0%	1.5%	1.0%
白票又は分からない	9.0%	14.0%	16.0%

(5) 労働関係

1日、全国労働総同盟(PIT-CNT)執行委員会はFAバスケス大統領候補及びセンデック副大統領候補ほかと会談、所得税中に占める非課税額の引き上げ、年末手当及び休暇手当の課税対象からの除外等の提案を行った。

(6) その他

23日、モンテビデオ県庁にて県知事会(Congreso de Intendentes)が開催され、県知事会長がアルマンド・カスティンデバ・フロレス県知事からアルティガス・バリオス・ロチャ県知事に交替した。

2. 外交

(1) 要人往来

ア ポルト外務次官のキューバ訪問

3～4日、ルイス・ポルト外務次官はキューバを訪問し、第七回ウルグアイ・キューバ政策協議会合に出席した。

イ ムヒカ大統領のBRICS首脳会合出席

16日、ムヒカ大統領は、ブラジルで開催された第6回 BRICS 首脳会合第二巡回会合に出席し、平等、地球環境問題、社会的包摂等のテーマにつき演説した。

ウ ムヒカ大統領のパラグアイ訪問

18日、ムヒカ大統領はパラグアイを訪問、オラシオ・カルテス・パラグアイ大統領と会談し、ロチャ県深水港建設へパラグアイが参加するためのワーキンググループ創設、ウルグアイ・パラグアイ二国間関係再活性化、両国株式市場の協力にかかる二国間協定に署名した。

エ サルグシャン・アルメニア大統領の来訪

8～10日、セルジ・サルグシャン・アルメニア共和国大統領が当国を訪問し、スポーツ、経済、出入国査証等に関する二国間協定に署名した。

オ リベロス・チリ外務次官の来訪

22日、エドガルド・リベロス・チリ外務次官が当国を訪問し、ポルト外務次官とと

もに第10回ウルグアイ・チリ政策協議メカニズム会合に出席した。

カ アジェンデ・ブシ・チリ上院議長の来訪

24日、イサベル・アジェンデ・ブシ・チリ上院議長が当国を訪問し、ムヒカ大統領と会談した。

(2) 二国間関係

ア 8日、アルマグロ外相とシバニ・アッバス駐ウルグアイ・サハラ・アラブ民主共和国大使は、ウルグアイ東方共和国・サハラ・アラブ民主共和国二国間協力枠組協定に署名した。今次枠組協定は、2005年12月26日ウルグアイがサハラ・アラブ民主共和国を公式に承認し外交関係を結んで以来最初の二国間協定となる。

イ 16日、ムヒカ大統領はブラジルにおいて、BRICS 首脳会合出席のため同国を訪問中のプーチン露大統領と会談した。会談では、ロチャ県大西洋岸における深水港建設計画への露の参加、サルト・グランデ水力発電所近代化にかかる資材の露からの購入、鉄道用及び海防用資材の露からの購入、ウルグアイから露への牛肉輸出等のテーマにつき話し合われた。

ウ 21日、外務省プレスリリースは、ブラジルとの間で二国間国境委員会を8月より開催する旨を発表した。右委員会開催のため、15日にはアルマグロ外相を座長とする準備調整会合が行われた。

エ 24日、外務省プレスリリースは、アンゴラ共和国にウルグアイの公館を開設する旨を発表した。外務省は、初代公館長としてアルバロ・エンリケ・ゴンサレス・オテロ氏を派遣すべく、同人事を議会に諮った。

(3) 国際機関関係

ア 2日付大統領府プレスリリースは、第57回世界観光機関(UNWTO)アメリカ地域委員会(6月25日にコロンビアにて開催)において、当国プンタ・デル・エステに所在するコンベンション・センター及び展示会場が通年観光の範例として評価されたと発表した。

イ 9日、エンリケ・ガルシア・アンデス開発公社・ラテンアメリカ開発銀行(CAF)総裁は、ムヒカ大統領及びカネパ大統領府副長官と会談した。

ウ 14日、国際連合武器貿易条約(2013年4月2日総会にて採択)がウルグアイ議会にて可決承認された。

エ 16日、アンデス開発公社・ラテンアメリカ開発銀行(CAF)は当地にて『グローバリゼーションの時代におけるラテンアメリカ』出版記念会を開催した。右書籍はエンリケ・イグレシアス元米州開発銀行総裁(ウルグアイ人)の功績を称えたエッセイ集。

オ 29日、当国政府は国際連合食糧農業機関(FAO)との間で協定を締結した。右協定は、遺伝子組み換え作物の栽培を行う上でのバイオセーフティレベルを高

めることを目的としたプロジェクト(TCP/URU/3403)実施に係るもの。

(4)シリア問題

1日、ミランダ大統領府人権事務局長はシリア難民受け入れにつき記者会見し、本年9月末に40人程度、2015年2月末に80人程度受け入れ予定である旨表明した。

(5)イスラエル・パレスチナ紛争

ア 1日付大統領府プレスリリースは、ヨルダン川西岸地区におけるイスラエル人の若者3人の殺害に関し、犠牲者への哀悼の意と殺害行為を非難する声明を発表した。

イ 2日付外務省プレスリリース及び3日付大統領府プレスリリースは、東エルサレムにおけるパレスチナ人の若者の殺害に関し、殺害行為を非難するとともに、紛争当事者が暴力のエスカレーートを防ぐべく最大限努力するよう要請する声明を発表した。

ウ 17日付外務省プレスリリースは、イスラエル・パレスチナ紛争における暴力のエスカレーートに関し、深い落胆の意(*profunda consternacion*)を表すとともに、紛争当事者に対し直ちに軍事行動を中止するよう要請する声明を発表した。

エ 24日、アルマグロ外相は、平和活動家でラジオ“*All for Peace*”共同代表のモシ・ラス氏(イスラエル人)と会談した。

オ 31日付大統領府及び外務省プレスリリースは、ガザ地区におけるイスラエル軍による国連運営学校の空爆に関し、市民を標的とする軍事行動を非難するとともに、紛争当事者に対し緊急かつ無条件に軍事行動を中止するよう要請する声明を発表した。

(6)メルコスール

ア 21日、アルマグロ外相とオスカル・パストレ・メルコスール事務局コーディネータは、国道8号線改修工事に係る無償融資協定に署名した。右協定により、ウルグアイ政府はメルコスール構造格差是正基金(FOCEM)より約2,220万米ドルの融資を受けることとなる。

イ 28日、ベネズエラ・カラカスにて第46回メルコスール共同市場審議会(CMC)が開催され、ポルト外務次官が出席した。

ウ 29日、ベネズエラ・カラカスにて第46回メルコスール首脳会合が開催され、ムヒカ大統領が出席した。

(7)ALADI

16日、御厨邦雄・世界税関機構(WCO)事務総局長が当地を訪問し、ラテンアメリカ統合連合(ALADI)本部において開催された「通商促進のための税関行政近代化」セミナーに出席した。

3. 社会

(1)政治家の犯罪被害, 犯罪

- ア ムニョス元厚生相は, バスケス大統領候補の選挙運動でセロ地区を訪問し, 車列で移動中, 自家用車の窓ガラスを割られ, 書類や現金の入ったハンドバックを奪われた。
- イ トウルネ下院議員(元内務相)女性議員は, ラ・ブランケアーダ地区で信号待ちの際に, 男1人に窓ガラスを割られ, 助手席に置いてあったハンドバックを奪われた。男は近くで待機していた仲間と逃走しようとしたが, 偶然近くに居た警察官らに逮捕された。
- ウ マルビン・ノルテ地区に所在するミエレス独立党大統領候補宅に何者かが侵入し, TV やノートパソコン, 宝飾品, 携帯電話, 現金などが盗まれた。
- エ ミケリーニ上院議員は, ポシートス地区の自宅前で4人組に襲われた。警察は, 同議員の車を奪おうとした犯人らに抵抗されたため拳銃数発を発砲した。同議員は右足に銃弾を受け負傷し, 英国病院に搬送されたが, 命に別状はない。
- オ 最近数年間で, 現役閣僚や国会議員数名が, 強盗犯罪被害に遭うケースが後を絶たない。アストリ副大統領, アブレウ上院議員, ララニャガ上院議員, マルティネス上院議員, センデック副大統領候補などが過去に被害に遭っている。
- カ ドゥラスノ県議会議員の自宅からコカイン及び大麻が押収され, 同議員が起訴された。さらに倫理裁判所へも送付される。また, 同議員の甥も薬物犯罪で起訴された。

(2)治安関係

- ア 夜間における交差点での防犯対策について, 交差点で信号待ちの車を狙った強盗が後を絶たない現状から, モンテビデオ県庁及びモンテビデオ県警本部が夜間(午後9時~午前5時), 交差点の一部において信号を作動停止させることを検討中である。同停止案は, 2011年10月に浮上していたが, 今日まで実施には至っていない。
- イ 今年4月に鑑識警察(Policia Tecnica)から改名した科学警察(Policia Cientifica)は, 血液や精子によるDNA鑑定その他, 指紋照合や弾道(銃弾)分析により, 昨年400件の事件を解決した。本年は既に211件の事件を解決している。なお科学警察による昨年の事件・事故発生現場への出動件数は4,600件(内1,300~1,500件が交通事故)。また同警察は犯歴者270,000人のデータベースを所持している。

(3)大麻規制管理

1日, 当地主要紙は, 大麻同好クラブ「CLUC」(Cultivando la Libertad Uruguay Crece)が教育文化省に対し会員制市民団体としての登録手続きを行ったと報じた。

(了)